

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	鳥獣被害対策について	シカやタヌキによる農作物被害がひどい。網などで防護しているが破られる。自家用ならまだしも、生業としている人たちは甚大な被害である。市の対策はどのように進めているのか。	市の鳥獣被害防止計画の中で今年はニホンジカの捕獲頭数を100頭から300頭に拡大した。それ以外に、電気柵の設置費用の1/2を補助(上限7万円)する予算を今年は126万円措置している。これは、大迫地域などの利用が多いので、足りないのではないかと感じている。 クマによる人的被害を未然に防ぐことも実施隊と協力しながらやっている。 →9月補正予算で増額をはかる予定。
2	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	鳥獣被害の状況について	市内でシカの被害はどれくらいか。	品目ごとの被害面積で集計しており、水稻が5.9ha、果樹が13haなど。ただ、被害にあった農地全体で計算するので面積は定かでないというのが実態。 シカの被害、クマの目撃情報とも確実に増えている。 ハクビシンの罠は農村林務課と総合支所合わせて19基あり、1か月間を上限として貸出ししている。 コミュニティで独自に購入した地区(浮田)もある。
3	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	シカの駆除について	シカはどのような方法で駆除するのか。 シカは夜行性なので銃では無理ではないか。遠野では罠をしかけて捕獲していると聞いたが、花巻ではその方法は考えないか。	捕獲は銃で。鳥獣被害対策実施隊で、銃による捕獲が効果的ということ。罠についてはまだ情報収集していない。 H25年度は銃で140頭捕獲している。
4	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	電気柵設置の補助について	地元の中山間で補助を出して電気柵を設置したことがあるが、500mで16万円かかった。市の予算126万円では全然足りないのではないか。	H25年度は花巻4基、大迫17基、東和3基で、126万円の実績。実績ももつての今年の予算措置である。 農村林務課でも総合支所でも申し込みできる。 →9月補正予算で増額をはかる予定。
5	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	電気柵や罠の広報について	電気柵設置の補助やハクビシンの罠貸出しについては、広報紙にも載っているのか。見たことがないが・・・。	次の振興センターだよりに掲載して広報する。 市の広報紙やホームページにも載せてみなさんに伝えるように。 (谷内第4行政区長の発言)コミュニティでもハクビシンの罠を5基購入したので活用いただきたい。
6	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	こども課	上瀬保育園の移転新築について	上瀬保育園は建築後かなり経過して古く、土地は個人から借りている土地である。旧谷内小学校跡地に移転して新築してほしい。 子どもが少なくなるから統合するということでは地域の人たちは納得しない。小学校も東和小学校に統合してから、地域と子どもたちとの関わりが少ない。数合わせだけでは考えてほしくない。 地域の子どもたちは地域のみみんなで守っていききたいという気持ちがある。 制度やニーズだけでは納得しない。	来年度から、保育園・幼稚園の子どもたちを保育・教育していく制度が変わる。市町村が実施主体となって保育・教育することになり、5年間の子ども・子育て支援計画を策定する。その計画は5年ごとに見直し、ニーズと保育・教育のあり方を検討しながら進めていくことになる。 H25年度に、小学校入学前児童と小学1年生から4年生までの保護者を対象に幼児期の保育・教育や子育て支援に関するニーズ調査を行った。この調査結果と児童数の推移をもとに、市全体で必要となる保育園・幼稚園数の計画を作成中。秋頃に皆さんに説明して意見をお聞きする予定。 上瀬保育園は昭和55年の建設で34年経過し老朽化しており、施設の改修は必要と考えている。 現在東和には公立保育園4つ、私立保育園1つ、幼稚園1つあるが、地域の皆さんと協議して、東和地域に何園あればいいか考える必要がある。改築も含めて全体計画を立てるので、計画案ができたらご意見をいただきたい。
7	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	東和総合支所地域振興課	市道館迫谷内線の補修について	館迫谷内線はデコボコがあったり側溝がなかったり、ガードレールが意味のないところがあったりする。総合支所の維持管理だけでは限界なのではないか。 国体の開催で、全国から田瀬のボート場を訪れる人が増えるので、これに合わせて整備してほしい。	災害復旧事業等に対応してきたので継ぎはぎに見えるところもあるし、かなり以前に整備したため土側溝である。ガードレールについては、総合支所に対応する。 全体的な再整備は、現地を再調査して検討する。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
8	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	消防本部警防課	ドクターヘリのヘリポートの管理について	千田精密の土地がヘリポートになっているようだが、舗装されておらず草むらになっている。ストレッチャーが動かせないので平らにしたほうがいいのではないかと。	実態を調べてみる。 →東和地域には9カ所のランデブーポイント(RP)があり、砂利地や草地、砂地等様々な条件となっている。着陸できるかできないかは機長の判断による。RPより現場により近い空地があり着陸できると機長が判断すれば、RP以外の場所に着陸するので、改めてRP所有者が維持管理するということにはなっていない。また、ストレッチャー使用不可の場合には、徒手搬送を行う。
9	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	松くい虫被害について	晴山は松茸の宝庫だが、松くい虫のおかげで危うくなっている。遠野では枯木を発見すればすぐに伐採するようだが、東和の場合は手遅れになっている。この状況を知っておいてほしい。	市で9千万円の予算措置をしているが全部切るには間に合わないのので、完全に枯れたものでなく、少し枯れ始めた木を重点的に切っている。実際に切る人が不足している問題がある。岩手県は特にひどく、今抑えないとどんどん北上することは国でも認識しているようだ。国にも予算措置を要望していく。
10	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	ニホンジカの駆除について	冬期間に足跡をみて銃で駆除するのがいい。勢子で追い出して打てば駆除できるのでやってみてほしい。	シカの捕獲300頭は現実的に可能な数字。鳥獣被害対策実施隊にお願いしているが実施隊も忙しい。人数を増やすことで補正予算をつけ、実施隊と調整をしている。
11	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	文化財課	丹内山神社関連文化財の補修について	神社の境内一帯が市の指定文化財になっており、緊急に修理しなければならぬ箇所がある。(本殿前の山門、観音堂の屋根、鳥居2カ所)補助を活用しながら計画的に直していきたいので、何か制度を見つけて情報提供していただきたい。	以前こちらでも活用いただいたように市の指定文化財の補修補助は上限が50万円。市の補助を使う場合は年次計画を立てて活用いただきたい。ほかに何か修復の補助金があるか調べてみる。担当課とご相談いただきたい。 →担当課で調査中であるが、修繕補助はなかなか見当たらない。その旨発言者にお伝えした。
12	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	こども課	保育園の職員体制について	地元の子どもたちは町場に集中させることなく地元で育てたいと思っている。どの保育園も、臨時保育士を探すのに毎年苦労しているようだが、正職員の割合が少なすぎないか。未来を担う子どもたちを育てていく体制をしっかりと整えてほしい。	どの市町村でも行政改革により民間委託等を進めており、市でも再編計画を策定し正職員の採用を控えた時期があった。しかし計画は思うように進まなかった。最近では保育需要が高まり、保育士不足は岩手県内や全国的にも課題となっている。少子化や職業選択肢が広がることで保育士になる人も減ってきているようだ。市では、昨年度、臨時保育士の賃金の改定を行ったほか、正職員割合を高めるため計画的に保育士を採用している。保育園は12時間開けているので、人数の確保が大変だが、保育士の確保に努力する。
13	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	長寿福祉課	介護施設の整備について	仕事をやめて家族を介護している人がいるが、介護者の交流会などがあっても代わりに介護してくれる人がいないので家を留守にできず孤立してしまう。特別養護老人ホームを整備することが望ましいが、高齢化が進む中で、市ではどのように対策を考えているのか。	国は在宅介護を進めようとしている。要介護度3以上でない特養に入れないという厳しい状況。市でも原則的には国の方針に基づいてやらざるを得ないが、需要がある場合はケースをみながら判断している。秋田県などでは今後老人の人数も減少していくと言われていて。花巻市でも30年絶てば今より減少する可能性もあり、むやみに整備するとも言えない。しかし、現在少ないという理解はしているので、30年後に余るかもしれないが、需要をみながら今後も整備は必要だという意識である。
14	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農政課	TPP対応について	TPP参加への反対は理解するが、全面的に否定するのではなく、妥結した時の対応を考えておいてほしい。	TPP妥結に備えてはその通りだが、TPPが妥結されても日本の米がだめになるとは思わない。アメリカの米は中粒米で美味しくない、日本の米のほうが明らかに美味しい。農水省の報告ほどダメージは受けないと思う。しかし、価格的には影響を受ける可能性があるため、やはり農業を守るためにTPPへの参加は反対する。日本の農業関係者が反対していることは効果がある。反対していることで日本政府も変な妥協ができない。もう少しがんばって皆さんと一緒に反対していきたいと思っている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
15	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内		アマゾン の会社運営について	アマゾンはネット販売の送料が無料である。日本国として正しい会社運営なのか、法人税は日本に納めていないようだ。我々の農産物の配送に影響が出ないか懸念している。	アマゾンの税金については分からないが、国同士の話もあるかもしれない。
16	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	商工労政課	北上市内での雇用による影響について	北上市に家庭用品の大きな配送センターとセブン&アイ・ホールディングスの加工施設および関連施設ができるということで、パートタイマーの争奪戦になる。自分のところは時給700~800円で雇っているが、今後時給1,000円のところが出てくれば、企業を誘致するだけの考えだけで地域の第一次産業が機械化し、米作りだけになるのかもしれないという危惧をしている。市としても検討して、地域の農業ができるように協力をお願いする。	北上市に時給1,000円で雇用する企業が来たとしても、それで花巻市民が豊かになるのであれば、反対しにくい。北上が発展して花巻市民も豊かになるのであれば、花巻にとってもいいことなので協力したいと思う。
17	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	商工労政課 農政課	海外研修生の受け入れについて	海外研修生の受け入れを市でも支援してほしい。	人が足りなくなったときに外国人を雇用することもあると思うが、違う人種、違う価値観の人たちを受け入れることが本当に皆さんが求める世の中か考える必要がある。
1	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	石鳥谷駅前及び商店街活性化について	今日までの石鳥谷町商店街活性化について、どのような政策を施してきたのか伺いたい。そしてその成果はどのように評価しているのか併せて伺いたい。また、他地区における政策はどのようなことを行ってきたのかも伺いたい。今後は商店街活性化について、どのような型の商店街作りを目指していくのか、そのための政策はどのように施していこうとしているのか。	石鳥谷に限らずそれぞれの地域の商店街の人たちとの顔づくり事業、商店街が企画している各種イベントの支援や空き店舗対策を全市地域で展開してきた。石鳥谷については、顔づくり交付金を活用して事業を展開している。酒蔵交流館を中心とした酒蔵まつり、映画祭、花北青雲高校チャレンジショップ等のイベント開催、中央通商店街振興会で小さな百貨店事業を、となりではシルバー人材センターによる高齢者技能活用事業を実施し、2店舗並んで展開している。空き店舗対策では、石鳥谷地域で4件新規に出店いただいた。家賃・改装等で補助している。また、国の補助制度を活用しにぎわいつくり事業を展開しているが、中央通商店街振興会と向町商店街振興会が連携し進めており、市が支援している。市がどのように評価しているかということであるが、それぞれの商店街の状況が違う。石鳥谷は生活空間としての商店街の趣が残っている。N-1など注目度の高い事業や、チャレンジショップで若い人を取り込む事業を組み入れていただいており、その企画力・着眼点はすばらしいと思っている。これからの方向性については、生活空間としての商店街が大事であり、魅力を創出して外からもきてもらう。企画を支援するスタンスは生かしつつ、商店街・住民等と腹を割って話し合っていく。議論することで新たな切り口が生まれるのではないかと考えている。
2	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	空き地の活用について	①中央通商店街と向町商店街で事業を進めているということだが、住民には見えてこない。 ②空き地が結構ある。酒屋(宝峰)跡地が広大な空き地となっている。もったいない。 ③大型スーパーが3箇所ある。郊外にあるので不便だ。好地地区は高齢者が多く、買い物に行くのが大変だ。街中の空間、宝峰跡地に、市のほうで移転させたり、周辺部のスーパーを中に持ってこれないか。そうすれば人の流れが外ではなく、内側に向かってくるのではないか。	空き空間はもったいないと思う。何とかできないかと考えている。市がどこまでできるかわからないが、全体的な構想を考えていく。限られた予算だが考えたい。旧花巻の中心部について国の制度を活用できないか、考えている状況である。旧3町については独自の予算で長期的に考えなければならぬ。宝峰の跡地、製材所(マルカ藤原)跡地等、活用を皆さんで考えていく。企業戦略もあるだろうから、スーパーを中に持つてくるのは難しいと思う。国の制度というのは具体的には、イルミネーションで街並みを装飾する事業とか、街コンを展開し、街中で出会いの場を提供している。地酒を組み入れて、若者を街中に呼び込むような方策を探るなど工夫している。
3	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	空き地の活用について(書店)	石鳥谷に本屋がない。中高生等は参考書を買うために盛岡等に行く。大変不便である。駅前に空き地があるというのなら、ぜひ本屋を開いてほしい。	花巻中心市街地にも書店がない。書店を取り巻く環境はあるとしても、市の土地の利用策と、民間の投資を促すような橋渡しをして関心を促す。不足する業種を商店街として呼び込む、テナントミクスなどを活用しながら、今すぐとはいかないが、努力していく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	観光課	ふれあい運動公園での出店について	ソフトボールでふれあい運動公園を利用する盛岡の友人に、商店街から出向いて商売する発想はないのかと聞かれた。公共の場で商売するのは規制があつてできないのか。 (現状は、わざわざ商店街には行かず、近場のスーパー(ジョイス)で屋食を購入しているとのこと)	観光に絡めて、イベント時に物産を売る店がない、屋食を売る場もないという話はよく聞く話だ。横のつながり、スポーツ部門と土工・観光部門のつながりが無いのが原因と見ている。おもてなしのひとつであり、取り組まなければならない。リスクもあるが、前向きに対応すべきと考えている。
5	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き家対策について	昨年4月に「管理不十分な空き家」の調査結果が公表された。調査件数は338件でそのうち42件が「建物や環境が著しく不良で、緊急的対応の必要性が高いもの」と評価されている。その42件についてどのように対応しているのか伺いたい。 当町江曾地区国道4号沿線にトタン屋根が捲れているところがあるが、危険極まりない状況かと思われる。どのように評価し、どのように対処しているのか伺いたい。 好地地区にも、「管理不十分な空き家」が何箇所あるのか、その対応を伺いたい。	【市の取り組み・経緯】 平成24年6月議会で、他市の事例を踏まえながら状況はどうかとの質問があつた。8月に区長に情報提供を依頼し、10月に現地調査を行った。平成25年4月に、調査件数338件、うち42件について管理不十分で緊急対応が必要と判断した。現時点での調査件数は369件で、うち52件が管理不十分で、緊急対応を要するとした。12月に判明した所有者にアンケート調査を実施。昨年度外壁落下対策2件を実施。 平成25年4月に、緊急的対応の必要性があると評価した42件について、平成25年5月22日付で「管理のお願い」の文書を所有者宛送付済、結果として除却にいたった件数が6件、相続財産管理人により危険が除去された件数が1件、所有者から連絡をもらい、現況の説明や口頭での管理のお願いをした件数が6件、所有者が志望し相続されていない等の理由で文書が返送されてきた件数は7件。 江曾地区国道沿線の空き家については、今年6月17日に石鳥谷総合支所から情報提供を受け、6月18日に都市政策課で現地調査を行った。屋根トタン飛散のおそれに加え、雨水浸入による柱や梁などの腐食も進んでいると考えられることから、建物や環境が著しく不良で、緊急的対応の必要性があると評価し、所有者に管理のお願い文書および現況写真を送付済である。 【今後の対応】 好地地区の管理不十分な空き家の調査件数は40件で、これらは主に行政区長を通じて情報提供があつたもの。調査結果は、緊急的対応の必要性が高いものが7件、中程度が16件、必要性の低いものが17件。平成25年度実施分25件、本年度実施分9件を併せて34件分について、管理のお願い文書を送付した。結果として平成25年度分25件について、除却にいたったのが2件、管理のお願いをした件数が6件、死亡等の理由で文書が返送されてきたのが6件。市でも空家対策に関する条例化を急いでいるが、国のほうで議員立法で法案が成立するとの情報があり、動向を見ている状況である。また、対策にあたり所有者の確認をしなければならぬが、個人情報保護の壁が立ちはだかたり、固定資産の問題がある。 【江曾地区国道沿線の空き家に対する対応について】 平成26年7月10日(木)、台風第8号進路予想に基づき、花巻北消防署による屋根トタン飛散予防措置を行った(飛散しそうなトタンをロープで固定した。現在も固定中)。 ※平成26年8月4日、上記の予防措置状況写真を添付し、第2回目となる所有者あて「管理のお願い文書」を配達証明付き一般書留で郵送した。
6	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き家の処分について	好地4区地内にも空き家があり、問題がある空き家である。相続人がいない。国庫に帰属した。国の立法を待っているのではなく、花巻独自でやっているのではないか。通学に支障をきたし、雪害、放火等の危険が予測される。買取等は自治体として何かやってもいいのでは?国庫に帰属した場合の方法について教えてほしい。	国に所有権が発生し、国に対して話をするようになる。近々に対応が必要な場合は、消防や関係機関と連携しながら対応していくので、連絡願いたい。パトロールはしているが、情報提供願いたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き地の管理について	マルカ藤原(製材所)跡地がある。風が吹けば、トタンが飛んでくる。管理者に連絡すると、「なんとかする。」と回答があるが、何もしない。市のほうで連絡等お願いしたい。	飛散状況等確認のうえ、管理者に連絡する。 →【対応状況】 懇談会終了後、現地確認し管理者の連絡先も入手したが、下記のとおり解体の届出が行われていることが判明したため、現在は解体工事の進捗状況を注視している。 ◎平成25年4月16日付けで、建設リサイクル法に基づく解体の届け出あり。(県南広域振興局土木部花巻土木センター 受付) ・工場 2,233㎡の解体。工期はH25. 4/23～H25. 5/31との事だが、少しずつ解体しており未完了。 ・届出者:いわて不動産(019-622-2400) 解体業者:(有)東安工業(019-624-6379)
8	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	自治公民館の新築及び修繕の補助について	好地地区には現在10箇所ほどの自治公民館があるが、いずれも老朽化や疲弊により本来の使用に耐えられないものばかりで、中には廃バスを利用しているところもある。市では、1件30万円を超える工事にかかる工事費の3分の1の補助制度があるが、地区には資金がないので、大幅な資金援助を希望したい。自治公民館の果たす役割は大変大きく、地区の活性化にもつながるので、考慮をお願いしたい。	現行の制度は、自治公民館の新築及び改修等にかかる補助について「花巻市自治公民館整備事業補助金交付要綱」に基づき、要望を取りまとめ、予算の範囲内で補助している。 補助対象及び補助額は、①新築または改築に要する経費:延床面積99㎡未満⇒経費の1/3以内で、限度額300万円。99㎡以上165㎡未満⇒経費の1/3以内で、限度額360万円。165㎡以上⇒経費の1/3以内で、限度額420万円。 ②増築、改修及び修繕(30万円を超える事業に要する経費:経費の1/3(公共下水道及び農業集落排水にかかる給排水設備並びに合併処理浄化槽の設置に要する経費にあつては1/2)以内とし、限度額180万円である。 自治公民館が生涯学習の拠点、地域のまちづくり・地域づくりの拠点として位置づけられていることは認識している。過去において、農林水産省の補助事業等を活用し整備していたこともあるが、現在は活用できない。廃バスを利用している実態も把握している。自由に使える予算は限られている。市内で自治公民館は288ある。提言・実態を踏まえて今後考えてまいりたい。
9	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	公民館新築にかかる国の制度の拡充について	公民館新築に関して、国のほうへの進言をお願いしたい。	国への進言について、省庁にかかわらず、制度について確認検討してまいりたい。
10	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	地域づくり課	行政区の見直しについて	好地19区は国道4号をはさんで東西に2つのブロックがある。東日本大震災の際、東西の連絡がうまくできなかった実態があるので、行政区の区割り・班割を一度検討願いたい。	区割りについて、19区は16区から分割した行政区で、分割の際には住民の総意に基づいて分割した。住民の皆様との話し合いで決めてまいりたい。
11	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	農村林務課	ふれあい運動公園に隣接する「森林公園」の整備について	ふれあい運動公園には日陰がない。西側に森林公園を整備してほしい。癒しの場としてもいいと思う。魅力的な地域づくりをしていただきたいと思う。	確かにふれあい運動公園には日陰がない。休む場所がないのはそのとおりである。どれだけのことができるのかわからないが、長い計画で考えていく。
12	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	地域づくり課 教育企画課 こども課	洋式トイレへの改修について	先日、ラットランドの研修生が石鳥谷国際交流センターにきて交流したが、洋式トイレが少なく、トイレの順番待ちで休憩時間を費やしてしまったようだ。今の時代は子どもたちも和式トイレの使い方を知らず、洋式トイレが普通だと思うので、学校なども洋式トイレの増設または改修をお願いしたい。	洋式トイレの関係は、国際都市化の推進ばかりではなく、高齢化あるいは子どもたちの生活習慣が変わってきているので、当然トイレの洋式化が必要であることも認識している。 各小中学校にも全学校洋式トイレの導入、公立の幼稚園・保育園もトイレの様式化に向けて進めていきたい。 各小中学校のトイレ洋式化は、平成26年度で完了する。公立の幼稚園・保育園もトイレの洋式化に向けて進めていきたい。 振興センターも、まずは最低1箇所は整備する方向で進めてきたが、増設を検討してまいりたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
13	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	国体推進課	アイスアリーナの改修について	今年度、アイスアリーナを改修し、2月頃までかかると聞いた。また、それを聞いたのが、3月末の閉館日であり非常にびっくりした。もっと事前に教えてほしかった。町内には、アイスホッケーとフィギアスケートのスポ少があり、大会もあることから12月、1月まで利用できないというのは非常に困る。出来るだけ早く利用できるようにしてほしい。	事前に話がなかったことについてはごもっともだと思う。その後、別途ご意見をいただいているが、工事が特殊で時間がかかるようだ。業者とも協議をしているところである。12月、1月の完成ではなく、影響を最小限にとどめるよう鋭意努力しているので、ご理解願う。事前周知については留意していく。 シーズンにかからないように工事を進めていくという理解をしている。経緯については、利用者にも早めに連絡する。 一6月12日に製氷機改修工事を発注したが、製氷機の納品に概ね5か月を要することから、工期を12月19日までとしている。ただし、出来るだけ利用者へご迷惑をおかけしないよう、請負業者と連絡を密にし、工期短縮に向けて努力している。
14	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	ラットランド市との姉妹都市提携30周年記念事業について	ラットランド市との姉妹都市提携30周年を再来年迎える。ほかと同様かそれ以上に予算をかけてほしい。充実した交流を続けていきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。	ラットランド市との30周年記念事業については、他の姉妹都市等との周年事業と遜色がないよう、失礼がないように検討してまいりたい。できる限り支援する。この前もラットランドから受入れした生徒と引率にお会いして親しくお話をしたところである。心の交流は必ずやる。
1	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	生涯学習交流課 こども課	花巻図書館および子どもの城を旧厚生病院跡地に建設することについて	中央地区振興協議会では交流人口の活性化を図る目的で、旧厚生病院跡地を「まちの駅」にすることで要望してきたが、図書館とこどもの城というプランが出てきて、活性化のためには、図書館でもこどもの城でも最低限いいのかなということで歓迎した。しかし、この間市長と懇談した時に「こどもの城と図書館は、面積的に不可能だ」という話を聞いた。最低限図書館だけでもいいので、補助金等を活用し、旧厚生病院を「まちの駅」として確保しながら大きなまちづくりをしていただきたい。	旧厚生病院跡地については、図書館、こどもの城、中ホールを整備する計画の中で、現在の設計によると駐車場は170台と少ない。障がいのある子どもの家族用の駐車場や、障がい児が外で遊ぶスペースもない。3つ整備するのは難しいので2つだけでもできないかということで現在検討している。 また、全体的なまちづくりの話は、今後投資的経費が増加するなど財政的に厳しい状況であることは確認しておきたいが、その中で、中心市街地活性化のために国の制度導入を検討している。 いずれ、中心市街地だけ発展するのではなく、花巻市全体のために中心市街地を整備するという方針でないと思われず、市民全体が納得しないと思うので、市民の方と話し合いをしていく。
2	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	道路課	中部病院の北上側のアクセス道路を整備することについて	中部病院のアクセス道路の花巻市分については完了したが、飯豊から先の北上側の整備はどうなっているか。	北上市には要望しているが、正直に言って北上市の優先度は低い。北上市には花巻と北上は協力しなければならない旨の話は言っている。
3	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	空き家対策について	東町の区長をしており、地区内にある空き家で困っている。鳥の糞害などがひどい。行政、住民、オーナーが一体となってやれるよう空き家条例などで法制化したほうが良いと思う。	空き家については、秋の臨時国会において議員提案で法制化する動きがある。法案は注意→勧告→代執行ができる強制力ある内容となっている。法案化をまず待ちたい。
4	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	道路課	市の対応について(側溝等修理)	昨年8月26日に、側溝等の修理依頼をしたが、いまだにやってない。毎月行って話しているが、話すたびに担当者が代わり、その時は「わかりました」となるのだが、情報共有されていないのかまったくやっていない。組織対応が全くない。	組織対応がなっていないのはお話の通り。おっしゃることが本当であれば部長、課長に話していただきたい。これはシステムの問題。市役所職員は一生懸命やっているがほかの方の声を聴くことが苦手。システムを変えていかなければと考えている。 一側溝蓋の設置は7月2日に終了。 今回の問題は、昨年に現地を確認したにもかかわらず、受付簿が適切に処理されなかったことが原因であったことから、今年度より、未処理がないか確認できるよう、事務処理の情報共有の見直しを行った。
5	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	地域づくり課	まん福の活用について	まん福について、市で購入し修繕等の整備をしたが、6月に構造上の問題があり暗礁に乗り上げたとの新聞報道を拝見した。この地区には公民館がない。間違いを正すのはいいが、使用できませんというのではなく、調査検討していただき、歴史的に価値のある施設を活用できるような方法を検討していただきたい。	これまで8,800万円ほどの費用がかかっている。今後安全性を確保するためにはさらに1億円くらいかかるという話であったが、仮に1億円だとすれば、そのくらいの費用をかけてやるのが本当に市民のためになるのか、市民の方に聞かなければならない。まちづくりの方にも関連してくるが、中央地区の住民の方が本当に駐車場がなくてもまん福に1億円かけて集会場として整備したいというのであれば、その可能性もないわけではない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課 観光課	旧エセナ跡地の活用について	旧エセナの跡地について、2年前の花巻まつりのときに屋形山車を展示したことがあったが、屋形山車を常設にするなど何か観光の目玉があった方がいい。 この場所の利活用も含めて、中心市街地の活性化をお願いしたい。	旧エセナ跡地を市で購入することは検討課題となっている。まちづくりをどうするかという全体像の中で相談していきたい。屋形山車については、五所川原市の立佞武多のようになればいいが、費用対効果という側面もあるので皆さんと相談していきたい。
7	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	生涯学習交流課	図書館整備に若い人の意見を	高齢者になると頑固になり、先入観にとらわれがちになる。市役所は60歳以下の人しかいないのだから、市長が若い市職員の発想をリードして、図書館整備等をしていただきたい。	ツツヤに委託している武雄市や近隣ではオガールプラザの紫波町などを参考にしながら、人の集まる図書館をめざし検討する。若手の活用については、いい案があれば市民から意見を聞きたい。商工会議所青年部、JCなどと協力しながら何かできることを進めていきたい。
8	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	健康づくり課	病院再編について	中部病院や岩手医大附属病院は救急医療であり、長期入院ができないとのことだが、そうであれば厚生病院の跡地について、花巻病院を移転させ温泉病院の機能を持ってくるとか、救急医療は中部病院や医大にまかせ、長期入院、リハビリ用の施設を花巻につくるとか、総花的ではない、特色のある病院設置の方向性を考えてもいいのではないかと。	特色ある病院を作るという視点は必要だが、市内にどの診療科を設置するかまで行政が行うとなると公立病院ということになってくる。奥州市では公立病院に年間13億円かけている現状があるが、花巻市で公立病院を設置する考えはない。また、近くに救急医療がなくていいのとか、という問題もある。県医療局や市の医師会などの専門家の意見を聞きながら検討していく。
9	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	地域づくり課 秘書政策課	まん福、旧エセナの活用について	まん福と旧エセナについて一体となった活用を考えられないか。たとえば旧エセナを立体駐車場とし、まん福をギャラリー、レストランとして活用してはどうか。	1つのアイデアだが、まん福を生かすために旧エセナを立体駐車場とすることが土地の有効活用ということを考えてときにどうか。まん福をギャラリーとして活用するのは有効なアイデアだが、市ではできない。民間でどなたかが引き受けてくれればギャラリーとして使う可能性がある。
10	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	城内大通り線の拡幅について	城内大通り線は、玉川旅館から花巻病院西側まで、と、花巻市職員第3駐車場から4号線までの間、歩道を整備するということが今年になってから説明がない。どうなっているのか。	全体的なまちづくりの中で議論していくので、現在話せる状態になっていない。確かにこれまでは都市計画決定を廃止し、歩道を整備するということで説明してきた。しかし、全体のまちづくりが決定した中で考えていくということで、再検討している。地域の方に説明がなかったことは非常にまずい面があったので、区長さん等住民の方に担当から改めて説明させる。 →中心市街地の再構築を検討する中で、城内大通り線についても再検討が必要であることから都市計画決定の廃止は保留することとし、沿線の区長さん等には8/19に説明することとしている。
11	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	誠山房跡地の整備について	まちづくりのために誠山房跡地を何とかしなければと思い、会社を設立し、誠山房を購入しよう検討しているのだが、解体費に6千万円かかる。柱に亀裂が入るなど倒壊の危険があるので、至急、解体について市で検討してもらえないか。	誠山房の場所はまちづくりに重要なところであり、全体的なまちづくりの中で構想に入れているが、ちゃんとした利用計画が作れるのであれば市で買うことも含めて考えていきたい。至急ということだが、市民の方に納得いただかなければならないし、予算のこともある。早くということもわかるが総合的に考えて対応したい。
1	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	外川目グラウンド照明設備の増設について	外川目グラウンドに照明が完備されてから利用者も増加傾向にあるが、利用者から外野側が暗いとの声が多い。特にスポーツ少年団の利用が多いことから、利用者の安全性・利便性の向上のため、外野側へ照明設備2基の増設をお願いしたい。	外川目グラウンドは、年間100回の延べ2,000人の利用実績がある。外川目グラウンドの照明設備は1,000W×48灯×6基ということで、市内の小中学校と同等の能力となっている。安全性を考えたうえで、利用に関して検討していく。
2	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	外川目グラウンド照明使用料金について	外川目グラウンドの照明使用料金は1時間当たり1,500円となっているが、料金が高いと感じる。	外川目グラウンドの照明使用料金は、他の小中学校と同じく1時間当たり1,500円で設定している。 他の施設との関連も含めて検討の余地はあるものと思う。
3	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	防災危機管理課	コミュニティFMの難聴問題について	コミュニティFM難聴に対し、テレビ共同受信設備を利用した改善策を実施したとのことだが、詳しい説明をお願いしたい。まだ聞けない地区もあるので、全地区がFMを聞けるよう、早めの対応をお願いしたい。	大迫地域には向山に受信アンテナを置きカバーすることであったが、電波が弱かったため各地区5か所に中継局を設けているが、限界があった。家の中でも聞ける方法として、テレビケーブルを使ってラジオ電波も家庭内に引き込む工事を昨年度実施したので、家庭内のテレビ端子に分配器の取り付けを各戸でお願いしたい。 後日、分配器の設置について担当課より説明する。 総合支所でも地域の皆さんに説明できるようにする。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	農村林務課	有害駆除(鹿)対策について	近年、鹿による被害が増えているが、被害対策についてお聞きしたい。	鹿による被害は全国的なものがある。市として計画を立てながら対応している。昨年度までは100頭の捕獲計画であったが、今年度は300頭の捕獲計画に増やして対応する。また、電気柵購入にかかる経費の1/2、7万円円上限の補助があるので、希望者は支所に要望していただきたい。
5	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	農村林務課	松くい虫の被害情報について	松くい虫被害が拡大しているが、現在の被害状況を教えてほしい。また、被害防止策をお聞きしたい。	松くい虫被害は市内全域で大きな広がり。旧花巻地域は、平成8年度から被害があり、相当駆除してきたが手におえない状況である。今年度も昨年度並みの9千万円ほど予算化している。それぐらいの金額をかけても被害の広がりは収まらない状況にあるが、予算の中でなんとか被害を食い止めたい。木を切る人員も限られており、被害の出始めたようなところを切るだけで精一杯の状況にあることをご理解いただきたい。
6	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	振興センター職員とコミュニティ会議の連携の在り方について	振興センター職員とコミュニティ会議との仕事の連携の在り方について、考えをお聞きしたい。また、いずれは振興センター職員を引き上げる話を聞いていたが、どうなるのかお聞きしたい。	コミュニティ会議との話し合いの中で、交付金の配分の問題や市の職員の必要性、その他いろいろな意見を交換したいと考えている。北上市のように、市の職員からコミュニティでの雇用に変える方法もある。振興センター職員27人分のコストも考えたうえで、振興センターに市の職員が本当に必要なか検証していきたい。
7	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	道路課	八木巻線の除雪について	冬期間、沢崎地区から八木巻地区にかけての圧雪箇所がアイスバーンになり、通行に支障があったので対応をお願いしたい。朝の除雪時間が遅くなったのが理由だと思うがどうか。	除雪の時間帯など、昨年度の状況も踏まえながら、今年の冬に向けて意見をいただきながら進めていきたい。
8	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	スポーツ振興課	大迫体育館内のクライミング場の増設について	現在、大迫体育館にあるクライミング場は、1日20人の利用が限界であるが、40人程度が利用できるくらい増設してほしい。昨年話では増設する話があったと思うが、現在の状況はどうなっているのか。当初は初心者用の設備であったが、国体も開催されるし、市外からの高校生の利用もあるので、競技用に増設をお願いしたい。	増設を約束したとの話は聞いていない。増設の希望があるのは聞いていた。市外からの利用もあるからといって、市として競技用に整備しなければならないことに疑問がある。20人が40人に増えたことにより費用対効果はあるのか。市として他に優先順位があるのではないかとと思うが、来年度予算に要望されたうえで、担当課と検討していくことになる。
9	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	道路課	八木巻線の道路拡幅工事について	八木巻線の道路拡幅工事だが、当初は合併前に終わる話だったと思うが、今になっても沢崎地区側しか進んでいない。スクールバスも通るし、冬場はアイスバーンにもなるので車ですれ違うのが怖い。地主との問題で工事が進んでいないとの話もあるが、地元には全く説明がないのはなぜか。	八木巻線の道路工事については、状況を総合支所に調べてもらい、支所執務日で回答できるようにしておく。 一建設部に確認。H26年度は沢崎側をやって一旦終了し、H27年度から旭の又側からの調査測量に入る。調査の際は地元の方々に説明会を開いてから取り掛かる。峠の部分はようやく所有者が分かったので、協力を要請して整備する予定。
10	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	総務課	本庁と支所との情報共有について	様々な問題について支所に聞きに行くが、本庁でないと分からないといった事が多々ある。本庁と支所との情報共有を図ってほしい。	本庁の情報が支所に伝わっていないとの声があったことから、定期的に連絡を取るようになってあるので、改善していきたい。今年度より“連携強化のしくみ”を構築し、市民が求める情報の周知と事務改善の相互に図っていく。
11	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	大迫総合支所地域振興課 観光課	カントリープラザ跡地の利用について	大迫野球場の上にあるテニスコートを中学生が部活で利用してるが、外れにあるため父兄等の送迎が必要となる。女子生徒が夜の暗い道を歩いて街中まで来るのは危険だと思う。また、熊の目撃情報もあるので、カントリープラザ跡地にテニスコートを建設するのどうか。	カントリープラザ跡地の利用については、まだ決まっていない。テニスコートというのは良い案かもしれないが、葡萄が丘全体で考えていかなければならない問題である。総合支所も含めて案を出してほしいが、新しいものを整備するよりも、今ある物を何とかすることが優先だと考えている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	資産税課	固定資産税について	40年近い建物を取り壊すことを検討していたが、税金を納めに窓口に行った際、建物を取り壊せばかえってお金がかかると言われたが本当か。	固定資産税や空き家対策については、国の動きに合わせて計画等を作るなどして対応していきたい。 →現在の制度では住宅を取り壊した場合、当該家屋の税額はゼロになるが、当該土地に対する住宅用地の軽減特例が無くなることから、土地の税額は上がる。なお、国では全国的な危険空家対策のため、特例措置の見直し等の動きもあることから、その動向を注視していく。